

開講科目名／Course	英語Ⅰ－A2	
ターム・学期／Term・Semester	2025年度／Academic Year 2学期／Second	
開講区分／semester offered	2学期、3学期／Second,Third	
単位数／Credits	1.0	
学年／Year	1	
主担当教員／Main Instructor	宮内 信治	
担当教員名／Instructor	宮内 信治	
必修・選択 ／compulsory subject	必修	
講義形態 ／Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	文法に基づいて英文の内容を理解しながら、スムーズに音読できる力を養う。また、平易な英文で書かれた本を多読することにより英文処理能力を高める。発音記号と調音法を教授する。エッセイや文学作品から英文を精選し、その英文を書写、音読、暗唱することにより、英語の定着を図る。	
到達目標	1. 英文の内容を把握しスムーズに音読できる。 2. 講義期間中に実施される複数回の英文暗唱Reviewにすべて合格する。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、5.地域性・国際性	
授業計画	01. Richard Feynman 1: 間接疑問、名詞節 02. Richard Feynman 2: 強調構文 03. Richard Feynman 3: 仮・真主語 04. Albert Einstein 1: 前置詞と動名詞、仮定法過去完了 05. Albert Einstein 2: 意味上の主語 06. Albert Einstein 3: 祈構文 07. William Shakespeare: Sonnet No.18、韻律 08. Inazo Nitobe 1: 修辞表現、仮定法過去 09. Inazo Nitobe 2: 接続詞 for 10. Inazo Nitobe 3: 命令文	
その他の授業の工夫	課題英文の暗唱確認として、講義開始時にペアワークを行う。	
時間外学修	事前学修：学習予定の章全体を通して3回読む。不明な語句を調べる。(5h) 事後学修：指定された課題英文について以下の作業を行う。(14h) 1) CDリスニング1日1回以上、 2) 音読1日5回以上、 3) 書写1日1回以上 1)、2)、3)を1セットとして5日分引き、指定された課題英文を暗唱できるようにする。	
評価方法と評価割合	期末筆記試験(70%)、英文暗唱Review(30%)で評価する。欠席・遅刻(早退)は減点する。欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席3回にて成績評価レベルを一段階下げる。また欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席4回にて試験の受験資格を失う。授業中における過度の居眠り、または授業進行妨害行為などは、教員の判断により、欠席扱いとする場合がある。授業への出席状況などは学生が自らの責任において把握管理すること。	
テキスト	こころの音読(講談社)、追加資料は別途指示	
参考書		
履修する上で必要な要件	英語ⅠA-1の単位を取得していること。	
その他	授業後半の多読については基本的に評価に含めないが、学習内容の習得・達成を何らかの形で自主的に表現し提出したもの(書評、書籍紹介、感想など)は、評価対象として加点する場合がある。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		